

中嶋 仁道氏に勲五等瑞宝章

秋の叙勲で中嶋仁道氏(大中)が勲五等瑞宝章を受章されました。中嶋氏は元教師で、三十年以上古川刑務所で、さまざまな収容者と対話を続けられました。

「刑務官と収容者は対等に話をすることはできないので、刑務官と収容者の間に立ち、魂で会話をすることを心掛けた。なかには罪を悔い、泣きながら真実を語った収容者もいた」と昔を振り返りながら語られました。



中嶋 仁道氏

播磨町ことぶき大学大学祭 盛大に開催



学生による舞踊

十一月十四日(水)、中央公民館大ホールにおいて、播磨町ことぶき大学の大学祭が盛大に開催されました。学生たちは主催者のあいさつなどのあと、午前・午後の部に分かれて日頃の活動の成果を発表し、最後には播磨音頭の総踊りで締めくくりました。

播磨わくわく講座 開講!

十一月一日(木)、福祉会館にて播磨わくわく講座が開講されました。主催する会合などに町職員が出席し、町政の現状や知っていることと役に立つことを知っていることとを話し、今年度からスタートしました。この日は、母子たちを支援するボランティアグループ「トウインクル」が企画し、「子育てを楽しむために」をテーマに開催されました。

参加者は、「子どもと一緒に講座が受けられたので安心して聞くことができました。また機会があれば参加したい」と満足した様子でした。

詳しいお問い合わせは企画調整課 ☎0794(35)0356までどうぞ。



画調整課 ☎0794(35)0356までどうぞ。

第24西っ子たち

レポーター 楠元 直美さん

播磨西小学校の太鼓座ができて、今年で「二十四年目」だそうです。去年までの卒業生は四百人を超えたそうです。

十一月十日(土)町民文化祭に出演するために、十月二十二日から前日までの三週間、授業が始まる前の七時三十分～八時ごろまでと、放課後から五時三十分くらいまで、体育館で大原先生の指導のもとで、

六年生九人(男子五人、女子四人)が練習をしました。

曲目、八丈島太鼓の「つなり」「荒波」の2曲を披露しました。

最後のポーズがなかなか決まらず、全員で「第二十四期生」ということでバチで「二十四」を表現したそうです。

太鼓座をいつまでも続けていってほしいですね。



みごとな勇姿を披露しました

地域の歴史を学ぶ

レポーター 門倉 敏子さん



みんなでワイワイガヤガヤ

播磨町の人権学習のグループ「ふれあいウエーブ」の受講メンバーが十一月十五日(木)に二子地区の普光寺と自治会公民館を見学しました。

年間六回程度の学習会ですが、先月の古田地区に続きフィールドワークです。

近藤龍樹ご住職の講話では、五百年前の普光寺建立の経緯や地域の歴史の説明を聞きま

した。

講話の中で、ただなる「ルーツ」を調べるのではなく先祖の苦勞や思いを受け止め、時間や空間を越えて、人生の営みがあるに続いていくということや、私たちは自分で生きていくのではなく、「生かされている」ということを教えていただきました。

引き続き、二子自治会公民館を見学し、地域の交流の場としての役割や核となっていることを感じました。

高井さん、田中さん、多木化学(株)に各大臣表彰と知事表彰

このほど、統計功労者として多木化学(株)が厚生労働大臣表彰、高井千里さん(古宮)が総務大臣表彰、田中登美さん(野添)が知事表彰をそれぞれ受賞されました。



高井千里さん



田中登美さん

昼間不在世帯の増加、プライバシー意識の高まりなど統計調査を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。その中2人は、各種統計調査の内容を正確に把握し、適正に調査票を配布、回収、点検するなど、長年にわたり統計調査を円滑に進められました。

また多木化学(株)は、勤労者についての統計調査を円滑に実施した事業所として表彰されました。

後河内 瀧雄氏 全国老人クラブ連合会長表彰

播磨町老人クラブ連合会会長の後河内瀧雄氏が、全国老人クラブ連合会長表彰を受賞されました。



後河内 瀧雄氏

後河内氏は昭和五十六年、播磨町新池老人クラブ会長に就任したのを皮切りに、平成八年からは播磨町老人クラブ連合会会長を務められています。

後河内氏は「驚きと感激で複雑な心境。これからも健康・奉仕・友愛の精神に基づき、老人クラブの発展に尽力したい」と話されていました。

学童まつり 親子280人が楽しむ



楽しそうな参加者

町内の全小学校内にある学童保育所が一堂に集い、交流を深める「第9回学童まつり」が十一月十八日(日)播磨西小学校運動場で行われました。

この日は親子約二百八十人が参加。目標の輪を狙って靴を飛ばす「くつミサイル」、腰につけたひもを逃げながら取り合う「しっぽとり」などがあり、親子たちが楽しいひとときを過ごしていました。

曲がった路面標示で“とまれ”

レポーター 山根 忠さん



いきいきセンター前



古田の十字路で

十二月広報で交通事故の状況が掲載され、事故件数の減少と死者ゼロが報じられています。

当町の道路には標識が各所にあり、安全な町でしよう。

そこで標識設置を調べたら、警察が設置したものとして、横断歩道・速度制限・止まれなどの標識。

町が設置した標識として、歩道・緑石の上の自発光板・警戒標識・十丁の交差点マーク・カーブミラー・ガードレール・街灯・案内標識などがあります。

自発光式交差点標識は、警察と町が設置する事になるようです。

交通安全は、危険箇所を調べることで、町と警察との連携プレーにより、事故の減少と死者を出さない町が続くことになり

ます。

また、町民の協力も必要ですね。

地域の話題や行事をはじめ、「これは何?」と感じたことなど気軽にお知らせください。

企画調整課 広報係 ☎0794(35)0356